

事業所名		キャンパスジュニア宿河原（放課後等デイサービス）		支援プログラム		作成日		8 年		8 月		1 日	
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの強みや個性に寄り添い、安心できる環境の中で「できた」を積み重ね、就学や社会生活への自信と土台を育みます。											
支援方針		・通所の対象：就学児（小学校低学年を中心とした就学児） ・お子さま一人ひとりの発達段階・特性・興味関心、学校生活や家庭での様子を丁寧に把握し、個別性を大切にした支援を行う。 ・個別支援、小集団活動、集団活動を組み合わせ、生活習慣、学習習慣、コミュニケーション、社会性、自己表現の力を育てる。 ・学校生活や地域生活に向けて、ルール理解、時間の見通し、感情の調整、友達との関わり、余暇の過ごし方等を支援する。 ・保護者、学校、相談支援事業所、関係機関と連携し、家庭・学校・地域での生活につながる継続的な支援を行う。											
営業時間		平日：9:00～18:00 ／ 土曜・祝日・学校休業日：9:00～17:00				送迎実施の有無		○あり		なし			
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・来所時の体調確認、手洗い、身支度、持ち物管理、片付け等を通じて、生活習慣の定着と自立を支援する。 ・学校後や長期休暇中の生活リズムを整え、見通しを持って安心して過ごせる環境を整える。 ・おやつや食育活動、日常生活場面を通じて、健康管理や生活スキルの向上を図る。											
	運動・感覚	・粗大運動、体幹運動、バランス運動、リズム遊び等を通じて、身体の使い方や姿勢保持を支援する。 ・制作、手指活動、感覚遊び等を通じて、手先の巧緻性や感覚の調整力を育てる。 ・一人ひとりの感覚特性に配慮し、安心して活動や集団参加ができるよう環境調整を行う。											
	認知・行動	・宿題や学習課題、教材、カード、具体物等を用いて、学習への取り組み方や理解を支援する。 ・時間の見通し、活動の切り替え、順番、ルール理解、指示理解等を小集団活動の中で育てる。 ・学校生活に必要な着席、集中、課題遂行、最後まで取り組む力を育む。											
	言語 コミュニケーション	・遊び、学習、日常活動を通じて、要求、気持ち、考えを言葉、身振り、表情、絵カード等で表現する力を育てる。 ・やりとり遊び、読み聞かせ、英語活動等を取り入れ、相手に伝える力や相手の話を聞く力を支援する。 ・本人に合った方法で、困った時に助けを求める力や、気持ちを適切に伝える力を育てる。											
	人間関係 社会性	・小集団活動を通じて、順番を待つ、友達と関わる、協力する、気持ちを切り替える経験を積み重ねる。 ・ルールのある遊びやSST等を通じて、相手の気持ちを考える力や社会性を育む。 ・「できた」という成功体験を大切にし、自己肯定感や新しいことに挑戦する意欲を育てる。											
家族支援		・連絡帳アプリ、電話、送迎時のやりとり等を通じて、家庭での様子や支援状況を共有する。 ・必要に応じて面談を実施し、学校生活、家庭での関わり、進路や発達に関する相談に応じる。 ・家庭で取り組みやすい関わり方や環境調整について助言を行う。				移行支援		・進級、進学、進路選択等のライフステージの変化に応じて、必要な情報共有や引き継ぎを行う。 ・将来の生活を見据え、身辺自立、社会性、余暇の過ごし方、自己理解につながる支援を行う。					
地域支援・地域連携		・学校、相談支援事業所、医療機関、行政機関等と連携し、支援の方向性を共有する。 ・必要に応じて関係機関との会議や情報共有を行い、学校生活や地域生活につながる支援を行う。				職員の質の向上		・支援の振り返りやケース会議を通じて、支援内容の確認と改善を行う。 ・虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策、安全計画、BCP、発達支援、SST等に関する研修を実施する。 ・外部研修や事例検討を活用し、職員の専門性と支援の質の向上を図る。					
主な行事等		・季節の行事：七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひなまつり等 ・活動：学習支援、制作、運動遊び、感覚遊び、英語活動、読み聞かせ、SST、避難訓練等 ・長期休暇活動：食育、外出活動、地域交流、余暇活動、イベント活動等											